

年度	R3
シートNo.	17
所属	総務部安全安心課 危機管理・国土強靱化係
シート名	防災

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		8.0	0.0	0.0
すべてのシートの合算		12.0	1.0	0.0

第五次総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的(上位目的)	04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる
	施策の方向	I-04 市民の防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の育成や地域の防災訓練への積極的な参加を促し、市民、行政、関係団体が一体となった防災体制づくりを推進します。
		I-04 地域防災計画に基づき、初動体制の強化、情報伝達の強化、備蓄品の充実、要配慮者への避難支援、自主防災組織の強化など総合的な防災対策や減災対策を推進します。
I-04 災害や避難などに関する情報伝達を強化するとともに、情報の共有化を図り、市民の災害への備えや適切な避難行動などの啓発に努めます。		
I-04 被災時の迅速なライフラインの確保、日頃からの防災用品の備蓄に努めるとともに、防災協定による医療・生活用品の供給体制を充実させ、被災直後の需要に対応できる体制を充実します。		

款	項	目	事業名	予算額
9	1	4	防災関係事業	37,955 千円
9	1	4	国土強靱化地域計画推進事業	1,308 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				39,263 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
災害に対する備えができていて、地域防災力の高いまちになる	自主防災組織設立数	59	60	60	61	61	↑	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	市民・事業者・行政機関等が協働して災害に対応できる	実施状況							-	
0101	地域防災計画の検証・見直し	検証・改訂	-	-	-	-	改訂	↑	○	
0102	国土強靱化地域計画の策定・推進	取組状況	-	-	検討	策定	推進		-	
0103	防災協定を増やす	協定数(累計)	50	58	61	68	87	↑	○	
	010301 行政機関との協定									
	010302 民間企業との協定									
0104	要配慮者利用施設における避難確保計画策定の支援	取組状況	-	-	-	実施	実施		-	
事業名	防災関係事業・国土強靱化地域計画推進事業	年度別決算・予算額(千円)	13,962	15,161	24,077	27,153	337,790	39,263		
02	市民が防災知識・情報・技術がわかり、地域防災力を強化する	講座参加者数	440	1171	783	1,393	850	↑	○	コロナの影響あり
0201	防災出前講座の開催	開催回数	10	21	20	29	17	→	○	コロナの影響あり
0202	防災啓発広報	実施回数	3	6	11	17	18	→	○	
	020201 広報紙による啓発									
0203	学校等における防災訓練の実施	実施回数	32	32	32	32	32	→	○	
	020301 教諭等への防災講座									
	020302 避難訓練等の実施									
0204	「館林市の防災を考える日」事業の実施	実施	実施	実施	実施	実施	未実施	→	×	コロナの影響あり
	020401 防災講演会									
	020402 写真・パネル・防災用品等の展示									
0205	市総合防災訓練への参加	行政区の参加人数	230	-	-	-	959		-	H28年度は県総合防災訓練実施 H30年度は台風接近により中止
事業名	防災訓練事業	年度別決算・予算額(千円)	10,885	-	4,441	-	574			R2年度は縮小実施 コロナの影響あり
03	防災備蓄品の拡充と保守・管理	拡充・管理	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0301	防災倉庫の設置	設置状況	設置	設置	設置	設置	設置	→	○	
0302	防災倉庫の保守点検(15か所)	設置累計数	11	12	13	14	15	→	○	
0303	備蓄品(食料・用具)点検・補充	設置状況	必要量	必要量	必要量	必要量	必要量	→	○	
事業名	防災関係事業	年度別決算・予算額(千円)	13,962	15,161	23,770	22,258	337,582	37,955		
04	市民が災害情報を収集できる	収集状況	収集	収集	収集	収集	収集	→	○	
0401	防災行政無線の活用	管理・使用状況	使用	使用	使用	使用	使用	→	○	
	040101 維持管理・保守点検									
	040102 情報伝達手段の整備									
0402	安全安心メール・防災情報伝達システムの活用	管理・使用状況	配信	配信	配信	配信	配信	→	○	
	040201 登録者を増やす									
0402	避難場所の標識設置・更新	設置(更新)数	2	2	2	6	4	→	○	
事業名	防災関係事業	年度別決算・予算額(千円)	13,962	15,161	23,770	22,258	337,582	37,955		
05	自主防災組織の活動を支援する	支援状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0501	自主防災組織の設立	設立組織数	59	60	60	61	61	↑	×	
0502	自主防災組織における防災訓練の実施	実施回数	12	20	16	24	9	↑	×	コロナの影響あり
0503	自主防災組織資機材整備費補助	補助組織数	9	8	9	10	16	→	○	
0504	自主防災組織防災訓練等活動費補助	補助組織数	4	5	5	11	2	→	×	コロナの影響あり
0505	防災士の育成	防災士の人数	12	10	-	-	-	↑	-	
事業名	防災関係事業	年度別決算・予算額(千円)	13,962	15,161	23,770	22,258	337,582	37,955		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 自然災害の多発により、社会全体の防災意識は高まってきており、自主防災組織の活性化や防災協定の増加、防災備蓄の拡充、防災情報伝達システム整備などにより、自助、共助、公助の連携強化に取り組んできた。

総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 市民の防災に対する関心は高まっているが、防災に関する取組みをさらに促進し、自発的かつ実践的な防災行動を定着させ、災害時に被害を最小限に抑えるための施策に取り組んでいく。

年度	R3
シートNo.	18
シート名	防犯

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		1.0	1.0	0.0
すべてのシートの合算		12.0	1.0	0.0

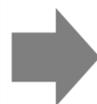
第五次総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち
	施策目的(上位目的)	04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる
	施策の方向	I-04 警察、市民、関係団体と連携を図り、地域ぐるみの防犯や見守り活動を支援するとともに、防犯意識の高揚と犯罪の起こりにくい地域環境づくりを図ります。 I-04 市民生活の安全と安心を確保するため、空き家の適正管理や活用などの総合的な空き家対策を推進します。

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
2	1	12	防犯関係事業	22,251 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				22,251 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
地域が連携して、犯罪やトラブルを未然に防ぐことができる	刑法犯認知件数 (館林警察署:館林市)	549件	527件	560件	602件	453件	↓	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	自主防犯組織の活動を支援する	事業実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0101	自主防犯組織の強化支援	防犯協会会員数	1,779人	1,838人	1,807人	1,737人	1,708人	→	×	
0102	防犯灯の設置・更新	防犯灯設置・更新	102灯	100灯	100灯	100灯	100灯	→	×	
0103	防犯灯の維持管理	防犯灯設置総数	6,014灯	6,107灯	6,201灯	6,301灯	6,401灯	↑	○	
0104	館林市防犯協会の運営	事業実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
事業名	防犯関係事業	年度別決算・予算額(千円)	16,995	17,094	17,145	17,820	18,074	22,251		
02	地域や関係機関と連携を図る	関係機関との連携	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0201	館林市防犯協会(行政区)		実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0202	館林行政県税事務所		実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0203	館林警察署	青色回転灯職員講習会受講者数	542人	524人	554人	557人	555人	→	○	
0204	学区等	不審者対応訓練	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0205	犯罪発生情報を提供	配信状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
020501	安全安心メールによる情報配信									
事業名	防犯関係事業	年度別決算・予算額(千円)	16,995	17,094	17,145	17,820	18,074	22,251		
03	防犯意識の高揚を図る	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0301	防犯啓発活動	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0302	防犯講座の開催	開催回数	1	1	2	1	0	↑	×	コロナの影響あり
0303	安全安心メール登録の推進	登録者数	312人	1,115人	738人	1,032人	1,126人	↑	○	
事業名	防犯関係事業	年度別決算・予算額(千円)	16,995	17,094	17,145	17,820	18,074	22,251		
04	不当要求等への対応	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0401	不当要求対策を実施	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0402	不当要求対策委員会を開催	開催状況	-	-	-	-	-	-	-	
事業名	防犯関係事業	年度別決算・予算額(千円)	16,995	17,094	17,145	17,820	18,074	22,251		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 犯罪やトラブルを未然に防ぎ、市民が安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進するため、行政区による自主防犯パトロール等の防犯活動を支援するとともに、警察をはじめとする関係機関・団体との連携を図りながら、各種防犯事業に取り組んできた。
 しかしながら、年々、巧妙化する特殊詐欺などに対する防犯知識の普及など、課題も多い。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、警察や市民、関係団体と連携した対策を実施する。また、手口が巧妙化する特殊詐欺などの被害を未然に防ぐため、様々な場面での啓発や情報提供に努める。

年度	R3
シートNo.	19
シート名	交通安全

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		1.5	0.0	0.0
すべてのシートの合算		12.0	1.0	0.0

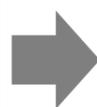
第五次総合計画	基本目的	I より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち VI 便利で快適な住みやすいまち
	施策目的(上位目的)	04 災害に強く、犯罪のない安全安心なまちになる 18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる
	施策の方向	I-04 交通事故の防止のため、地域、学校、警察及び関係団体と連携し、子どもから高齢者まで各年代に応じた交通安全教育に取り組み、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図ります。 I-04 交通事故の発生のある道路や交差点などにおいて、カーブミラー、警戒標識及び道路区画線などの交通安全施設の整備を図ります。 VI-18 市内移動手段の利便性、安全性の向上のため、道路や橋りょうなどの整備と維持管理を行います。また、歩行者の安全確保に配慮するとともに、自転車の利用者が安心して通行できるよう安全対策に努めます。

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
2	1	11	交通安全活動推進事業	8,940 千円
2	1	11	交通安全施設整備事業	14,001 千円
2	1	11	自転車等駐車場整備事業	968 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				23,909 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
歩行者及び車両等が安心して通行できる	交通事故件数(年次) (館林警察署:館林市)	327件	340件	324件	283件	210件	↓	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	過去の実績					目標	達成	備考
			H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績			
01	交通安全施設を整備する	交通事故件数(年次)	327件	340件	324件	283件	210件	↓	○	
0101	カーブミラー等を設置・更新・改良する	設置・更新・改良数	43基	32基	27基	36基	32基	→	×	
	010101 バトロールによる危険箇所の把握									
	010102 地域や警察との連携による対策協議の実施									
	010103 交通安全施設の維持管理									
	事業名 交通安全施設整備事業	年度別決算・予算額(千円)	16,403	14,543	12,266	12,371	13,872	14,001		
02	交通安全活動・啓発を実施する	交通事故件数(年次)	327件	340件	324件	283件	210件	↓	○	
0201	全国・県民交通安全運動	交通安全運動の実施	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
	020101 館林地区三交連絡協議会による啓発活動の実施									
	020102 交通対策協議会による推進会議等の開催									
0202	交通安全啓発	交通安全啓発の実施	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
	020201 交通安全バトロールの実施									
	020202 小・中学生の自転車交通安全啓発の実施									
	020203 高齢者の反射材利用促進啓発の実施									
0203	交通指導員による交通安全指導	交通安全指導の実施	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
	020301 通学路における街頭指導の実施									
	020302 小・中学生の交通安全教室の実施									
	事業名 交通安全活動推進事業	年度別決算・予算額(千円)	7,481	7,269	7,285	7,172	7,422	8,940		
03	通行者の安全を確保する	放置禁止区域内の放置自転車数	0台	0台	87台	9台	9台	↓	×	H30.9.1 館林駅西口放置禁止 区域指定
0301	市営駐輪場の管理	館林駅東口駐輪場の管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	→	○	
0302	放置自転車の取締	巡回バトロールの実施	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
	030201 放置自転車の指導・警告									
	030202 放置自転車の撤去									
	事業名 自転車等駐車場整備事業	年度別決算・予算額(千円)	1,948	1,950	1,964	1,891	1,030	968		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 交通事故防止のため、地域、学校、警察及び関係団体と連携し、交通安全運動や交通安全教室など交通安全教育や啓発活動を実施するとともに、地域要望などに基づき、交通安全施設の整備と維持に努めた。
 また、館林駅西口広場の共用開始に伴い、放置自転車禁止区域を追加指定し、通行者の安全確保を図った。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 交通事故件数は減少傾向にあるものの、さらなる市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、より効果的な啓発に取り組む。
 また、関係団体等と連携を図りながら交通安全施設整備を推進する。

年度	R3
シートNo.	20
シート名	公共交通

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		1.5	0.0	0.0
すべてのシートの合算		12.0	1.0	0.0

第五次総合計画	基本目的	VI 便利で快適な住みやすいまち
	施策目的(上位目的)	18 人や物が移動しやすく、快適な生活がおくれるまちになる
	施策の方向	<p>VI-18 鉄道の利便性向上のため、関係市町と連携を深めながら、地下鉄の乗り入れなどを鉄道会社に要望します。</p> <p>VI-18 路線バスの運行については、近隣町との連携により、利用者ニーズに対応し、市の中心部や各地域を効率的かつ効果的に結ぶため、路線の見直しやダイヤの改正などを図ります。また、駅や大型商業施設などの交通結節点の円滑化など利便性の向上を図ります。</p> <p>VI-18 高齢者や障がい者を含め、だれもが移動できる路線バスをつくるため、車両などのバリアフリー化を推進するとともに、利用者がわかりやすく使いやすい公共交通情報の提供を行います。また、地域全体で路線バスを支えていく意識を醸成するなど、利用促進の取り組みを積極的に進めます。</p>

款	項	目	事業名	予算額
2	1	11	高齢者医療機関通院等助成事業	27,366 千円
2	1	11	公共交通整備事業	131,320 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				158,686 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
市民の移動手段であるバス路線を維持する	運行路線8路線	維持	維持	維持	維持	維持	→	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	地域公共交通計画を策定する	計画策定	-	-	-	着手	策定	→	○	
0101	新たな公共交通ネットワークを再構築する	計画立案	-	-	-	検討	実施	→	○	
010101	市内巡回線の整備									
010102	市内巡回線の新設									
	事業名 公共交通整備事業	年度別決算・予算額(千円)	118,243	129,449	134,048	142,014	145,968	131,320		
02	路線バスの運行を確保する	運行の確保	確保	確保	確保	確保	確保	→	○	
0201	運行事業者へ助成する	市補助額	44,078	51,042	55,931	54,368	64,676	↓	×	コロナの影響あり
	事業名 公共交通整備事業	年度別決算・予算額(千円)	118,243	129,449	134,048	142,014	145,968	131,320		
03	路線バスの利便性を確保する	利便性の確保	確保	確保	確保	確保	確保	→	○	
0301	バス路線見直しの計画を策定する	計画立案	検討	検討	検討	検討	検討	→	○	
030101	館林市外四町地域公共交通会議の開催									
030102	乗降調査・利用状況調査の実施									
0302	乗降性と快適性を高める	車両の更新	1台	1台	1台	2台	2台	→	○	
030201	計画的な車両の更新									
	事業名 公共交通整備事業	年度別決算・予算額(千円)	118,243	129,449	134,048	142,014	145,968	131,320		
04	バスの利用者増を図る	利用者数	256,301人	257,176人	261,661人	248,074人	188,632人	↑	×	コロナの影響あり
0401	運行情報の提供	作製・配布数	3,000部	4,500部	3,500部	3,500部	4,500部	↑	○	
040101	時刻表の作製・配布									
040102	市内路線図及び時刻表の作製・配布									
040103	バスロケーションシステムの運用									
0402	利用啓発の実施	実施回数	4回	8回	13回	15回	5回	↑	○	コロナの影響あり
040201	通学利用促進啓発の実施									
040202	乗り方教室の実施									
040203	出前講座による利用啓発の実施									
0403	定期券の無料交付	利用者数	229人	313人	407人	421人	348人	↑	○	コロナの影響あり
	事業名 公共交通整備事業	年度別決算・予算額(千円)	118,243	129,449	134,048	142,014	145,968	131,320		
05	高齢者の通院を支援する	交通費の一部補助	実施	実施	実施	実施	実施	→	○	
0501	高齢者通院等タクシー券を交付する	申請者数	7,274人	7,242人	7,034人	6,445人	6,338人	→	×	コロナの影響あり
	事業名 高齢者医療機関通院等助成事業	年度別決算・予算額(千円)	22,542	21,446	21,580	21,201	17,425	27,366		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 利用者ニーズに沿った運行経路及びダイヤの見直しにより、利便性の向上を図るとともに、利用啓発により利用者増加に努めた。
 また、路線バスの補完として高齢者通院等タクシー券による高齢者の移動支援をしてきた。
 さらに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指し、館林都市圏地域公共交通計画を策定した。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 館林都市圏地域公共交通計画を推進することにより、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組む。